

活動レポート

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会幹事長 木本光則

昨年度から実施して、2 年目の今年度は 7 月に開催しました 「技術士を知ろう！ in 苫小牧高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営担当している「技術士を知ろう！」。平成 30 年度の活動第 3 弾は、昨年度から実施している苫小牧工業高等専門学校(高専)の 3 年生を対象に開催しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：H30.7.17(火) 14:50～15:35

講義内容：資格の重要性、技術士とは？

技術士の仕事内容と役割

若手技術者の仕事

対象者：苫小牧工業高等専門学校

環境都市工学科 3 年生 44 名

参加幹事：小澤、木本(記) (ミライ研 2 名)

巻口、岡本(青技交 2 名)

3. 資格の重要性、技術士とは？

北科大、学園大に続き、小澤代表より技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性や、業界における公務員・建設会社・コンサルタントの役割等の説明を行いました。

当初講演予定だった幹事の千葉技術士が業務都合で参加できなくなるというミライ研のピンチを見事に代表がカバーするとともに、既に技術士に興味を持っている、技術士補になるための第 1 次試験を受験予定という学生がいたこともあり、小澤代表の説明もいつになく“饒舌”となりました。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

続いて、地元・苫小牧の(株)タナカコンサルタントに勤務する巻口技術士より、河川系の建設コンサルタントの仕事紹介を行いました。巻口技術士は苫小牧高専の OB ということもあり、学生さんも身を乗り出して聞いている状況。自身の職歴や技術士取得に至った経緯、さらには仕事のやりがいや達成感なども熱く語り、学生時代の秘蔵写真もチラ見せしつつ(笑)、最後には「高専ならではのつながり」や「今を全力で楽しむ」等、熱い語りで会場を沸かせていました。

「学校、先輩は頼るものであり、後輩たちからは頼られる人であれ。」巻口技術士自身も感動(?)したという苫小牧高専の先輩、幹事の千葉技術士の昨年度プレゼンの言葉を引用すると、学生からのアンケートにも多くの反響があり、まさに「高専ならではのつながり」を筆者は垣間見た気がしました。



写真-2 OBとして力が入る巻口技術士

5. 高専卒業後の仕事、働き方等

講演の最後は、明治コンサルタント(株)にて活躍する岡本技術士補より、若手技術者の仕事や働き方等を講演しました。

まずは建設コンサルタントにて行っている仕事、土質(地質)調査・解析の概説を行うとともに、自身の担当した業務の紹介等を実施。その中で、就職してからの「若手」世代の働き方や、女性技術者からみた業界での働き方、苦労、やりがい等を紹介しました。苫小牧高専の環境都市工学科3年生は、10名の女子学生が在籍しており、同じ女性技術者の視点から講演があったことは大いに刺激になったようです。



写真-3 岡本技術士補からの講演と会場の様子
女性技術者ならではの講演が学生に好評だったようです

6. まとめ

学生からの感想には「技術士補を取るだけでもかなり違うことがわかったので、取得してみようかな

と思った。」、「今まで技術士というものを耳にしたことがあるぐらいだったが、今回の講演で技術士の資格を取りたいと思った。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、44人中42人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、44人中37人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また、「今回、講演を聞いて今後の就職のイメージがよくなったと思います。」、「苫小牧高専のOBの方もいたので、少しチャレンジしようという気になった。」、「女性でも活躍できる、手当アリというのは嬉しいと思った。」、「女性でもしっかり働いているのが、カッコいいなと思いました。」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価で4.4、4.3と学生に高評価でありましたが、数字に表れないインパクトも残せたのかなと考えています。

「技術士を知ろう！」メンバー募集中！

ミライ研では、青年技術士交流委員会の連携・協力で、このような出前講座「技術士を知ろう！」を各校で実施しております。母校で講演してみたい、また学生との交流を図るイベント等を手伝いたい！という方、当方(mk1424@docon.jp)または青年技術士交流委員会までご連絡ください。

※ただし、講演者は青年層(45歳以下)を中心とさせていただきます。

なお、講演内容は基本的には講演者が自由に選定できますが、学生にきちんと「伝える」こと、他の講演者との整合を図ること等を目的に、事前に内容確認、ミーティング等を実施しております。原則、そのミーティングに参加いただける方に限らせていただきますので、ご了承ください。